

医療的ケア児等の災害の備え

リード文 山内先生 文字数 100~200 文字程度 (枠に収まる程度) でご入力をお願いします。

例)・ここ数年、毎年甚大な被害を伴う災害が起こっています。

・災害が発生すると、避難、電源の確保、医療・福祉機関等との連絡・連携、必要な物品の確保等が必要になります。様々な状況を想定し、医療的ケア児の備えを進めましょう。

平時の備え ~地域のつながり編~

社会福祉法人 小羊学園 つばさ静岡 医師 浅野 一恵

@地域とのつながりが最も重要

自治体の避難行動要支援者名簿に登録し、近所の人や民生委員とつながっておき、いざというときに助けてもらえるようにしましょう。発災直後に一番困ることが多いため、屋内の安全な場所への移動や、電源や水源確保で困った時、近隣の方に思い切ってSOSを出しましょう。

@仲間と情報を共有することが安心につながる

連絡がつかないこと、正確な情報が入らないことが最も不安につながります。災害時伝言ダイヤルが使えるようにしておきましょう。学校、放課後デイサービス、生活介護事業所、訪問看護ステーション、ヘルパー事業所、相談支援員、PTA や親の会などにつながっておき、連絡が取り合えるようにし、孤立しないようにしておきましょう。最新情報が得られるよう、SNSや仲間とのメーリングリスト等を活用するとよいでしょう。被害状況や支援についての正確な最新情報を共有し、お互い励まし合うことで安心感が高まります。

@避難場所と非難経路の確認

誰と、どこに、どのタイミングで、どういう移動手段をつかって避難するのか、前もって相談しておき、支援者と共に避難支援計画を立てておきましょう。

コラム

特定非営利活動法人 静岡市障害者協会会長 牧野 善裕

~自分の自助、地域の支援、支援者・相談員と仲間の共助、そして、公助です~

牧野会長
お写真

みなさま、住んでいる地域の危険性(ハザード)を把握するのが第一歩です。発災後すぐに津波が来る地域などには「住まない」「引越す」のが究極の事前対策でしょう。

医療的ケア児のニーズは個別性が高いと言われ、災害時のニーズも支援も十人十色。避難所には医療機器や酸素、ケア用品や適切な環境はほとんどなく、公助に多くを求めても限界があります。例えば、電源の確保が挙げられます。災害時は、停電が発生する可能性が高く、電源を必要とする医療機器(人工呼吸器・吸引器等)には良質な電源を長く確保することが不可欠です。そこで、複数の外部バッテリーの継続的な充電方法も準備しましょう(※参考)。今後は電気自動車の活用も一案。

Aさんに必須な支援でもBさんには不要の場合があり、保護者は自助でどこまでできるか本気で考えないといけません。相談員と一緒に考えましょう。まず、個別避難計画を必ず作ることにりましたが、地域住民や相談機関や提供事業者の関係者全員に集まってもらい、対応を考え役割を分担することが重要です。避難支援から避難生活のことも考えましょう。家族で抱え込まないで、まずは「助けて」と言いましょう。

令和4年9月の台風15号の時、清水では断水で困ったご家族が大勢いました。災害対応は、一般の人への支援は来ますが、個別ニーズに合った支援は直ぐには届きません。「困った、助けて」と発信した声をキャッチして支援した人は、施設の職員や仲間が施設に集まった医療的ケア用品を届けたのです。でもすぐに頼れる人は、近所の人です。相談機関と地域のネットワークを作ることが大切です。

※:医療機器が必要な子どものための災害対策マニュアル~電源確保を中心に~2019

災害時に備えて準備しておくもの(5日分)

年1回チェック
しましょう!



	品目	備蓄数	メモ
人工呼吸器・酸素関連	呼吸器回路一式		
	蘇生バッグ		
	予備気管カニューレ		
	Y字ガーゼ		
	延長チューブ		
	酸素ボンベ、ボンベカート		
	人工鼻		
	加温加湿器		
	モニター		
吸引	吸引器(手動・足踏み)		
	吸引チューブ		
経管栄養・胃瘻関係	経管栄養剤		
	注入用ボトル		
	栄養チューブ		
	胃ろうチューブ		
	延長チューブ		
医療材料等	シリンジ		
	滅菌精製水		
	蒸留水		
	ガーゼ		
	アルコール綿		
非常用電源	固定用テープ		
	外部バッテリー		
	延長コード		
	シガーソケット対応インバーター		
	発電機		
	蓄電池		
	UPS(無停電電源装置)		